

飯南町の概要

(1) 飯南町の概要

飯南町は島根県中南部にあり、広島県との県境、中国山地の脊梁部に位置し、周囲を 1,000 m 前後の琴引山や大万木山などに囲まれ、平坦地の標高が約 450 m の県下でも代表的な高原地帯です。町の南端にある女亀山を源とする神戸川が北へ貫流し、谷地区を南に流れる塩谷川は江の川に注いでいます。

農業においては、県下一の「良質米」の産地としての水稲と「島根和牛の本場」に代表される和牛生産により現在の農業が築かれてきました。近年では、メロン、ほうれん草、トマト、ヤマトイモ、ぶどうなどの特産園芸作物も栽培されています。



【地勢】

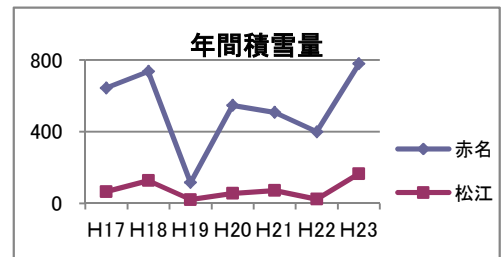
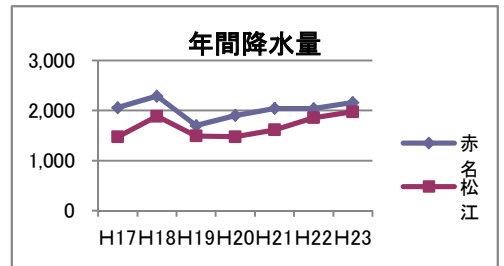
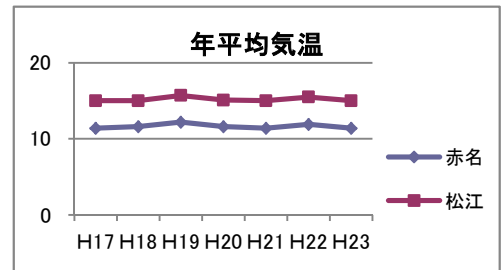
飯南町の総面積は 242.84 平方キロメートル(東西 32km、南北 32km)で、約 90% を山林・原野が占めています。

総面積に占める耕地割合は田が約 6%、畑が約 1% となっています。

〈関連指標〉

総世帯数	1,944	総人口	5,534
農家戸数	792	専業農家戸数	190
農家人口	2,164	農業就業人口	720

出典：H22 国勢調査、H22 農林業センサス



【気象状況】

飯南町の年間平均気温は 12℃ 前後となっており、県下でも有数の高冷地帯です。県庁所在地である松江市と比較して、年間平均気温は約 3.5℃ 低く、冬は寒さが厳しく、反面夏は過ごしやすい気候となっています。

平成 23 年の年平均気温は 11.4℃、年間降水量は 2,161mm、年間積雪量は 780cm となっています。

【交通アクセス】

【自動車】

■ 三次 IC ~ 国道 54 号 経由

- ・ 広島から約 2 時間
- ・ 北九州から約 4 時間
- ・ 大阪から約 4 時間 30 分

■ 三刀屋木次 IC ~ 国道 54 号 経由

- ・ 松江から約 1 時間 30 分

【バス】

- ・ 広島から約 2 時間
- ・ 松江から約 1 時間 30 分
- ・ 出雲から約 1 時間 15 分

(2)産地、主要品目の概要

飯南町では水稲と和牛生産により現在の農業が築かれてきました。近年では、メロン、ほうれん草、トマト、ヤマトイモ、ぶどうなどの特産園芸作物も栽培されています。



〔ヤマトイモ生産の概要〕

栽培面積	2.5ha	出荷量	8.2t	販売金額	325万円
出荷時期	12月～				
主要出荷先	道の駅「赤来高原」、吉舎食品				
その他	寒暖の差が激しい「高原」特有の気象条件で育ったヤマトイモは「強い粘りと濃厚な旨味」が特徴です。				



〔トマト生産の概要〕

栽培面積	0.6ha	出荷量	28.0t	販売金額	922万円
出荷時期	7月下旬～11月上旬				
主要出荷先	JA、県内市場				
その他	大玉トマト、中玉トマトを主体に夏秋栽培に取り組んでいます。エコロジー栽培にも取り組み、安心して安全なトマトを提供できるよう努力しています。				



〔パプリカ生産の概要〕

栽培面積	0.45ha	出荷量	7.0t	販売金額	500万円
出荷時期	7月中旬～11月中旬				
主要出荷先	JA、大阪市場、広島市場、鳥取市場、県内市場等				
その他	産地化を目指し平成16年から取り組んでいます。生産者が丹精こめて育てたパプリカは、飯南高原の恵みをうけ大玉で色鮮やか、甘くおいしく実ります。				



〔メロン生産の概要〕

栽培面積	3.0ha	出荷量	5.2t	販売金額	3,080万円
出荷時期	7月下旬～8月上旬(アムスメロン、アールスメロン)				
主要出荷先	JA、県内市場、広島市場、鳥取市場				
その他	琴引山から流れ出る豊かな水と、昼夜の寒暖の差が大きい飯南町では、大玉で糖度の高いおいしいメロンが栽培されています。				

〔インゲン生産の概要〕

栽培面積	0.9ha	出荷量	3.2t	販売金額	274万円
出荷時期	7月中旬～10月下旬				
主要出荷先	広島市場、鳥取市場、県内市場、				
その他	メロンの後作を中心にハウス栽培を行い、柔らかく品質の良いインゲン栽培に取り組んでいます。				